

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/

# 建交労 CTG・とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03 (3820)8644(代)  
fax 03 (3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

## バス関連支部（京王新労組）2・24都労委にて和解成立

バス関連支部（京王新労組）は、2月24日、長年続いた京王電鉄との労働争議の全面和解が成立し、労働委員会で調印しました。2009年から続いた争議は終結となります。

長年の争議支援に、感謝いたします。京王新労組は、公共交通企業である京王電鉄をはじめとする京王グループ各社に対し、労働者の権利を認めさせ「明るい展望と希望の持てる職場にすることが住民の



長年のご支援ありがとうございます

京王電鉄は京王新労組結成直後から、組合員だけに一時金不支給を繰り返し、攻撃を重ねてきました。また、2002年に分社を強行した際には、組合員全員から仕事を奪うという暴挙を重ねました。その争議もみなさんの支援をもって2005年には全員が職場復帰する和解を勝ち取りました。京王電鉄とその

支配下にある京王グループ各社は、職場復帰後も、労働組合の本来の役割を果たさそうとする京王新労組を敵視し、再び不当な攻撃を続けてきました。

しかし、この度、争議の終結をもって京王新労組を会社に正式に認めさせたこととなります。今回の和解では、残念ながら個々の組合員の差別是正を実現するには至らなかったものの、組合と会社との間で労働協約を締結し、安定した労使関係を実現することにより、良好な職場環境を確保し、労働条件の維持・向上を図るとい

う労働組合の存在意義を実現するものとなっています。さらに、雇用の安定と働く者の健康の保持・向上を達成することについては、労使ともに努力することが確認されました。全面解決を踏まえて、京王新労組は、引き続きバス労働者の生活と健康を守るたかいを進め、争議を支援していただいた市民、労働者・労働組合とともに、働く者の権利拡大、労働条件向上を実現するための取り組みをいっそう強化する決意です。

【バス関連支部（京王新労組）  
執行委員長 佐々木 仁】

### 3.2 建交労2023年春闘中央決起集会 ～賃金闘争の推進で物価高騰を乗り越えよういまこそ建交労の総力を発揮しよう～

「賃金闘争の推進で物価高騰を乗り越えよういまこそ建交労の総力を発揮しよう」をテーマに、建交労は3月2日（木）「建交労2023年春闘中央決起集会」を開催しました。衆議院第2会館多目的会議室に、全国の仲間約100名が集いました。主催者挨拶で角田季代子執行委員長は「物価高騰が止まらない中、大幅賃上げを推進して労働組合の役割を発揮しよう。組合員の生活を守るとりく



23春闘勝利を目指し、団結して頑張ろう！

みを展開しよう」「岸田政権の大軍拡・大増税は絶対に認めることはできない。アメリカいいなりで日本経済を死の商人に売り渡し、戦争国家づくりを止めさせる運動を各地でとりくもう（建交労2023春闘・月間推進ニュースNo.6より）」と訴えました。また、全国トラック部会簡井幹事、北海道鉄道本部武田委員長、全国学童保育部会立嶋部会長、福岡県本部緒方書記長、東京都本部遠藤書記長、大阪府本部藤川執行委員長が、各組織の取り組みについてそれぞれ決意表明をおこないました。集会後は全労連の決起集会の他、建交労建設産別委員会（ダンプ部会、生コン部会、労働部会、重機部会、建設現場部会、建設・関連部会）が第38次大手ゼネコン要請行動を実施。ダンプの過積載根絶や、ミキサー車のバック時における誘導員の配置など、安全・安心な建設業界を目指し要請しました。また、全国学童保育部会、鉄道本部、全国トラック部会、厚労省や国交省、議員要請行動をおこないました。全組合員で取り組んだ厚労大臣宛個人請願署名は4901筆集約しました。集会前には、全労連女性部が東京駅前で早朝の菜の花行動を開催し、その後、内閣府に対し要請行動を実施。建交労女性部が結集しました。

### JR貨物はベースアップを実施せよ！暮らしを支える鉄道ネットワークの維持・拡充を！鉄道東日本本部 JR貨物本社前宣伝

鉄道東日本本部は、3・9全国統一行動として昨年同様、JR貨物本社前で抗議宣伝行動を展開しました。午後1時より新宿駅西側のJR貨物本社前に鉄道東京地本や神奈川、埼玉、宮城や岩手地本の組合員、東海や西日本の鉄道本部の役員も結集し、JR貨物に対し大幅賃金引き上げをはじめ労働条件改善を求めました。貨物会社に導入されている新人事制度は職群によって



JR貨物本社前 (新宿駅西側) 物価高から暮らしを守る大幅賃上げを！

大きな格差が生まれ、多くの社員から不平・不満が湧き上がっています。特に昇給額が6割となっている運転士が多数を占め、昇給試験を受けても落とされ続け目標を見失いかけています。鉄道本部は、「安全を担う職場・職種にはなじまない」制度であると主張し、試験制度を廃止し自動昇格とすることを求めています。また要員不足も深刻で災害時などは途中駅で長時間止められ、代替要員がいなくて10時間も20時間も機関車に缶詰め状態になっています。こうした状態を解消するため早急に運転士の要請などを求めています。

バス関連支部(京王新労組) 京王電鉄本社前ストライキ集会開催！

バス関連支部は2月10日に京王電鉄バス株式会社(京王電鉄の子会社)に対し要求書を提出し組合主張を行いました。会社の回答は、定期昇給は実施するが、一時金は20%カットと大変厳しい内容でした。こんな時だからこそ溜め込んだ利益を崩して企業としての社会的責任を果たすよう主張しましたが、電鉄バスの利益はすべて土地や建物に化けており、取り崩せる溜め込みはない。利益は親会社の京王電鉄に吸い上げ

られているということです。この回答で、やむを得なくストライキを実施することを通告しました。春闘の「見える可」を求め、京王電鉄本社前でストライキ集会を行いました。シンガーの大熊氏によるギターと歌声で、沿道の注目を集めました。主催者を代表して争議の解決報告と支援へのお礼、23春闘で「物価高騰率を超える賃金上げの声をあげよう！」と呼びかけました。建交労中央本部、都本部、国民春闘共闘、東京春闘共闘、三多摩春闘共闘などの代表が挨拶し「物価高騰の中でストライキによって賃上げを迫ろう！軍事費よ



京王電鉄本社 聖蹟桜ヶ丘駅前

り生活保障へ！」と表明しました。集会後、京王電鉄本社に交渉に入り、親会社が責任を果たすよう求めました。【バス関連支部(京王新労組) 執行委員長 佐々木仁】

### 東京青年部第22回定期総会～集え門仲へ！言葉を交わそう、みんなで語ろう一緒に目指そう強くあたたかい社会を！～

3月4日(土) 東京青年部は東京都本部の会議室にて、第22回定期総会を開催しました。神田支部や関東支部、鉄道東京の仲間をはじめ、東京地評青年協議長の千保法之さん、建交労全国青年部の山内理恵副部長が来賓として参加されました。秋山青年部長は、活動報告で昨年は反核キャンペーンとして広島



都本部7階会議室を会場に会場で対面で開催しました 総会修了後は交流会を行いました

- #### 組合掲示板
- 4月 2日(日) 14時～建交労東京学校/ラパスホール(大塚駅・新大塚駅)
  - 4月 4日(火) 17時半～三多摩春闘共闘23春闘ターミナル宣伝/立川駅
  - 4月15日(土) 14時～組織拡大検討委員会/都本部7F会議室
  - 4月24日(月) 13時～西東京バス賃金差別是正裁判判決/東京地裁立川404号法定

の被爆者山田玲子さんをお招きし、被爆体験を聞いた後、門仲駅前宣伝する独自企画に挑戦した事、2ヶ月に1回委員会を開催し交流を深めるなど、コロナ禍でも積極的に活動した1年だったと報告しました。今年度も、全国青年部や東京地評青年協に結集しながら、東京女性部と合同でレクレーションを企画するなど楽しい1年を目指します。多くの青年の皆様に参加を！

東京女性部第23回定期大会開催(大軍拡を止め、ジェンダー平等、誰もが働きやすい職場に)

東京女性部は、2月11日、オンライン併用で8名が参加して、定期大会をひらきました。

東京青年部長の秋山さんの来賓挨拶に続き、連帯のメッセージが紹介され、江部事務局長からは、憲法カフェ開催をはじめとする活動経過と共に、岸田政権の戦争国家づくりに反対し、仕事と生活を両立させる働くルールの確立などの運動方針が提案されました。

「大手建設現場では、行政や民間検査機関で、検査をリモートでも可能にする動きがある、資材の高騰・不足の影響により資材の代替品の使用がすすんでいる」の報告に、建物の品質を危ぶむ声。

「職場での男性のセクハラ発言に注意をするが、自覚がなく、なかなか理解されない。」「JR東日本車内販売の職場では、非正規でも正規にはなりたがらない事や、限定正社員の部署でも矛盾が出ている。」

「同性婚をめぐる秘書官発言は許せない。子供を産む・産まない事など自分の経験からもいろいろな差別をなくしたい。」等活発な討論が行われ、今後一年間の奮闘を誓い合いました。

【東京女性部委員 廣川 陽子】

勝・不足の影響により資材の代替品の使用がすすんでいる」の報告に、建物の品質を危ぶむ声。

「職場での男性のセクハラ発言に注意をするが、自覚がなく、なかなか理解されない。」「JR東日本車内販売の職場では、非正規でも正規にはなりたがらない事や、限定正社員の部署でも矛盾が出ている。」

「同性婚をめぐる秘書官発言は許せない。子供を産む・産まない事など自分の経験からもいろいろな差別をなくしたい。」等活発な討論が行われ、今後一年間の奮闘を誓い合いました。



都本部7階会議室でリモート併用で開催しました

※支部・分会へ郵送させて頂いている女性組合さん対象の「建交労女性部2023つながろうアンケート」(A3サイズ)へのご協力を、どうぞよろしくお願ひ致します。

〆切:5月12日(金)

建交労中央女性部(山本)宛